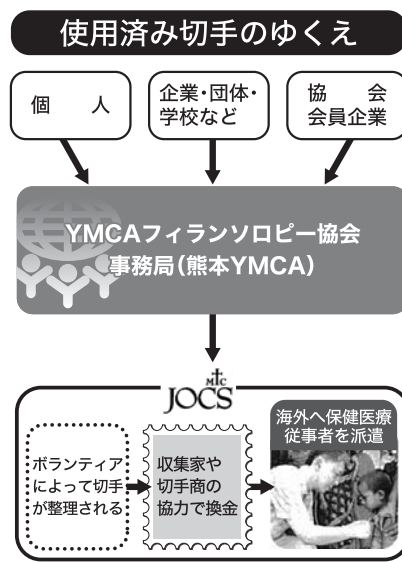


使用済み切手を集めて、医療に恵まれない地域へ医師や看護師を送ろう！

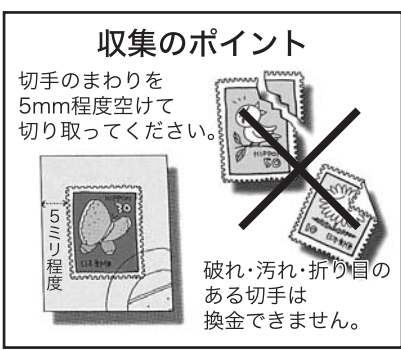
たった1枚の切手からはじまる国際貢献
YMCAフィランソロピー協会(事務局・熊本YMCA)は、社団法人日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)が取り組む使用済み切手収集活動に協力しています。

封筒やはがきに貼られ使用済みとなった切手が企業や学校、個人から寄せられます。集まった使用済み切手は、収集家や切手商の協力により換金され、JOCSが行っている海外医療活動の資金として活用されます。



なぜ使用済みの切手がお金になるの？

切手そのものが役に立つのではなく、切手収集家へ買い取ってもらい、お金にしてJOCSの海外医療協力のための費用として活用されるのです(換金率はおよそ1kg1600円)。切手の種類やスタンプの種類など、収集家の好みによって集め方も様々です。



収集のポイント

切手のまわりを5mm程度空けて切り取ってください。

破れ・汚れ・折り目のある切手は換金できません。

最寄りのYMCAまでお持ちいただくか、ご郵送ください。

※郵送の場合の送料はご負担ください。
※受領証が必要な場合はお伝えください。

YMCAフィランソロピー協会 年次総会開催

10月23日(金)、YMCAフィランソロピー協会の2010年度総会が開催されました。事務局長の堤弘雄さんが「世界的に厳しい経済状況が続く中、社会貢献に取り組んでいただいていることに敬意を表します。来年10月に協会は設立15周年を迎えますが、これからも社会に奉仕し、人間愛に基づく絆を大切にしながら、皆さんと一緒に頑張っていきたい」と挨拶されました。



続く2009年度事業報告では、熊本第一信用金庫の高木啓丞さんが「チャリティイブチ駅伝」で優勝し、クリスマスプレゼントのプレゼンターとして小児病棟や児童養護施設を訪問した際の感想、近代経営研究所の國武瞳さんが「交流デイキャンプ」で大自然の中で子どもたちと有意義に過ごした時間について発表。その後、決算報告、新年度の事業方針計画・予算案の提案があり、全員の拍手で承認されました。

第二部では、社団法人日本キリスト教海外医療協力会総主事の大江浩さんが講演(詳細は1面)。大江さんは、JOCSがアジアやアフリカの国々で取り組む保健医療活動を紹介。「医療サービスを受けにくい地域への訪問をはじめ、命を守るための啓発や医療従事者の育成など、地域に根ざした医療協力を行っています」と語り、その活動を支える「使用済み切手運動」について説明されました。「世界では、3秒に1人の子どもたちが5歳になる前に亡くなり、1日1ドルで暮らす人々は10億人以上。捨てればゴミになる使用済み切手ですが、年齢問わずに取り組み、リサイクルにもなるボランティアです。「みんなで生きる」一人として、命を支えるボランティアに参加してほしいですね」と呼びかけ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

鹿児島島の地に日本で35番目のYMCAが創立

鹿児島YMCAの創立記念式典が10月14日(水)に行われ、約250名の参加がありました。熊本YMCAから理事長の吉本貞一郎さんと22名が出席。記念礼拝では、日本バプテスト伊集院キリスト教会牧師の麦野賦さん(鹿児島YMCA常議員)が「幸福の第一歩」と題し、「YMCAには、力に満ち、人に遣い、愛に満ちて分かち合う人生を人々に提供できるような働きが求められている」と奨励。記念式典では、鹿児島YMCAインターナショナルスクールの園児39名によるコーラス隊が、「性別や宗教、人種など違っていてもみんな同じ、1つになる」とうたう「Where Peace Begins」を振り付けとともに英語で披露。その後、鹿児島YMCA評議員会長の田上容正さんより、「祈りと行動をこの鹿児島島の地で起こし、命や平和の尊さを伝えていきたい」と力強いメッセージが伝えられました。鹿児島県知事・市長らから祝辞が贈られ、また、財界からも多数列席があり、YMCAに対する青少年育成やコミュニティづくりへの大きな期待が寄せられました。

記念祝賀会では、全国的知名度を誇る小学生だけのジャズバンド、玉江小学校「リトル・チェリーズ2009」による演奏の後、鹿児島YMCA常議員会議長の徳田穂さんが「命や平和を大切に地域社会づくりに貢献したい」と挨拶。鹿児島YMCAを、という切なる祈りと願いによって、鹿児島ワイズメンズクラブ、鹿児島YMCA設立準備会発足から20年の歳月を経て、ようやく鹿児島島にYMCAが誕生しました。YMCA運動が鹿児島島の地で実践され、世界に平和と希望をもたらす指導者や青少年の育成へとつながっていくことが期待されます。



REPORT Event

交流開始から30年 日韓YMCA医師蹴球親善試合

開催期間/2009年9月19日(土)〜21日(月)
開催場所/韓国・大邱(テグ)
日韓YMCA医師蹴球親善交流30周年となる第21回大会が開催されました。博多港を出国した熊本医師蹴球団16名は、韓国大邱で現地医師団の歓迎を受けました。試合は3-1で熊本医師団が勝利。優勝旗が再び熊本に戻りました。この交流に大きく貢献された小林康夫先生、橋口英夫先生が今年天に召されました。これまで築かれてきた相互理解と尊敬の思いが、将来へ向け日韓両国の架け橋となるよう、サッカーを通じた交流がこれからも続いていきます。



練習の成果を披露 水前寺幼稚園運動会

開催日時/2009年9月27日(日)9時〜14時半
開催場所/出水南小学校グラウンド
恵まれた天気の下、園児一人ひとりがおもいきり競技や演技し、自信を得て一日を終えることができました。特に年長組にとっては、幼稚園最後の運動会。繰り返し練習した組体操と鼓笛「ドラゴンボールメドレー」を力いっぱい披露しました。YMCA体操教室のリーダーによるデモンストレーション「シルクド・ソレイイけ」も行われ、ミニトランポリンを使ってジャンプや宙返りするリーダーの姿に釘付けでした。

